

「国滅んで憲法9条残る」

J1SXA/池

独乙の国もゆき過ぎて 露西亜の境に入りにしが
寒さはいよいよまさり来て 降らぬ日もなし雪あられ

さびしき里にいでたれば ここはいづことたづねしに
聞くもあはれやそのむかし 亡ぼされたる波蘭

かしこに見ゆる城のあと ここに残れる石の垣
照らす夕日は色さむく 飛ぶもさびしや鳩鴿の影

栄枯盛衰世のならひ その理は知れれども
かくまで荒るるものとして たれかは知らむ夢にだに

これは、落合直文作詞の「波蘭懐古(ポーランドかいこ)」の歌詞だ(3番から6番までを抜粋)、シベリア単騎横断の、福島安正少佐がドイツから東シベリアまで1年半くらいかけて、冒険旅行をしたことを歌った歌で、当時ポーランドはロシア、オーストリア、プロシアに分割併合されていた、独露国境を越えて旧ポーランド領に入り、まず目にしたのは亡国の悲劇だった、かつては隆盛を誇った大国が、三国との戦いに敗れ、分割された国土は見る影もなく荒廃していた、国滅びれば、かくも哀れなり。

今、ウクライナが大国ロシアの侵攻に抵抗している、ゼレンスキー大統領の元に愛国の民が戦っている、国が無くなることを憂えての行動だ、犠牲者をこれ以上出さないために。ウクライナは即戦争を止めるべきだなどとの意見もある、だが、こんな意見を言う人が、その後の被害の大きさを考えているのか、平和ボケの日本人の、無責任な意見では無からうか？

日本がこれと全く同じ状況に立たされたらどうなるのだろうか、亡国の危機を真剣に考える人は少ないようだ、

尖閣諸島のみならず沖縄をも呑み込もうとしている中国、チベットやウイグル或いは香港の現状に目を向けて見ることも必要だと思うが、そんな話は現実的なものではないと、憲法9条にしがみつ়人々の如何に多いことか。

「国破れて山河あり」では無く、「国滅んで憲法9条残る」かな?…目前に迫る危機と「あの世からのお迎え」の来るのはどちらが早いかな。hi

おっとっと、アマチュア無線は政治がらみの話のご法度だった、そんなことよりも、240の継続発展にどのように資するかを真剣に考えなければいけないかな?

とは思って見たが、頭も身体も全く働かない、情けないの一言あるのみ、俗に言う通り「歳はとりたくない」だ。
(2022年9月記)